

西町商店街周辺で行われる。俳優の永野芽郁さん、佐藤健さんが演じたヒロイン

原五郎を演じ、声優として活躍する高木涉さんが午後1時25分から、トークショーを行つ。東濃地域11店

光交流課、電話0573(2)62111。(三輪真大)



検討委員会の

する近藤信幸

## スマートファクトリーアワード

# 光洋陶器(土岐市)が受賞

製陶メーカーの光洋陶器(土岐市

泉町久尻、加藤一治社長)が、製造現場や生産管理の先進化・効率化の優れた事例を表彰する「スマートファクトリーアワード2019」を受賞した。工場内の機器をインターネットでつなぐ「IoT(モノのインターネット)」やロボットを駆使して生産性向上や省人化を図り、伝統産業で工場を見える化した取り組みが評価された。

(野中準二)

縮。職人の技術やノウハウを共有できよう数値化、データベース化して、情報に基づいて型を機器にセットすると成形、乾燥を行う自動成形ラインを構築した。釉薬を塗ったり、生地を焼成用ケースに入れたりするロボットも生産ラインに取り入れ、省人化を実現した。

どの製品がどの製造工程にあるのか、稼働状況が社内ネットワーク上で把握できるシステムを構築し、工場を可視化。商社向けに製品や在庫情報を

公開する自社の電子商取引(EC)サイトと工場のシステムを連動し、検品が終わると5分以内にサイトに情報を反映させている。

加藤社長は「ITやIoTの導入ありきではなく、課題解決の取り組みを重ねた結果、スマートファクトリーになつた」と受賞を喜び、「人でなくてもできる仕事はロボットに任せ、人は

付加価値を生む仕事をできるよう取り組みを進めたい」と強調。「人手不足や職人の高齢化による技術の継承といった悩みを抱える地元業者に工場を開き、美濃焼の産地振興につなげたい」と語った。

同アワードには、ほかにデンソーやパナソニックライフルリューションズ新潟工場など4件が選ばれた。



スマートファクトリーアワード2019のトロフィーを手にする加藤一治社長=土岐市泉町久尻、光洋陶器



生産ラインに導入した釉薬を塗るロボット=土岐市泉町久尻、光洋陶器

## 県内ぐるり お店めぐり

さわやかな風味とモッチリ

### 冷麺専門店「hachi」

岐阜市

さん(31)の2人で切り盛り。

